

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ **2025/05/23**

前南生

×

ALT

①Lunch Meeting 2年生 4人とヌエン先生との昼食会の様子を一部紹介！（実際の会話は英語です）

Q 英語の授業でこうなったらいいなと思うことはありますか？

森川さん「もっと英語を話す練習をしたいです。2年生になるとALTの先生の授業もなくなり、話す機会が減っていると感じています。」

村松さん「僕は英語を話すのも好きだけど、文法の学習が好きです。」

藤井先生「私達も英語を話す機会を設けたいと思っています。1年生では『GELP』という英語の学習アプリ【右図】を始めました。自分のレベルに合った英語学習ができるアプリで、AIとおしゃべりして英会話の練習もできます。そういったツールを使うのもいいと思います。」

GELPとは

AIが生徒の英語力や興味に合わせて最適化した学習を提案する学習支援サービスです。

生徒の英語力と関心に応じて最適化された4技能の学習体験を提供することで、生徒の英語力向上に貢献します。



「自分専用」の
4技能の学びを実現

生成AIによる
即時フィードバック
※スピーキングとライティングのみ

興味関心に応じた
ニュースの配信

アプリ内の問題を
生徒に課題配信

Q 前南生のエージェンシー(主体性)が成長していると感じますか？

村松さん「SAHという校風は浸透してきていると思うし、学校行事等、生徒中心なのがいいと思います。」

佐藤さん「私もそう思います。僕は学習室の利用日を増やしたいです。」

佐藤先生「進路の岡田先生に学習室の利用についてたずねてみるのもいいかもね。頑張っ！」



ランチ会の様子

②ヌエン先生にインタビュー

【自己紹介】

ヌエン先生「Hello, my name is Tu Anh Nguyen! アメリカのカリフォルニア州で生まれ育ち、両親はベトナム出身のためベトナム語と英語を話せる環境で育ちました。『日本の文化』と『教えること』が好きで日本に来ました。好きなキャラクターはクロミ、そしてK-Popが好きです。」

【前南生について】エージェンシーの成長を感じている

ヌエン先生は、前橋南高校に来て3年目になります。前南生の印象について尋ねると「生徒たちはいつも明るく礼儀正しく、クラスメイトとの仲が良い」と話してくれました。さらに、「生徒たちはここで大きく成長し、集中する方法を学び、学んだことを活かして自分自身を向上させています。生徒たちが年々成長していく姿を見るのはとても楽しいです」とも語ってくれました。

生徒たちの英語力については、「前南生の英語力はとても素晴らしい」と高く評価しています。「私は授業をすべて英語で行いますが、生徒たちは指示に従うことができます。また、質問することを恐れず、英語でコミュニケーションを取ろうとします。時には、自分が何をしているのか分からずに飛び込むこともあります。それこそが生徒たちの素晴らしいところです。英語を学ぶ上で、自信を持つことが大切です」と、生徒たちにアドバイスを送りました。

ヌエン先生は、SAHプログラムが始まってから、前南生のエージェンシー(主体性)が大きく成長したと感じているそうです。どのような場面で生徒のエージェンシーの成長を感じるか尋ねると、「私の授業では、生徒たちは英語を使って自分の考えを伝え、学校のために何をしたいのかをよく話し合います。彼らは計画を立て、それを実行することができます。例えば、電子レンジを各階に設置したり、図書館でイベントを企画したりと、生徒たちが学校の雰囲気を良くするために様々な変化を起こしているのを見てきました。SAHプログラムを改善するための提案をしてくれた生徒もいます。彼らの積極性はますます高まっていると感じます！」と教えてくれました。

【前南生へのメッセージ】自分を信じベストを尽くし続けて

ヌエン先生「MAENAN STUDENTS! いつも楽しく授業を受けてくれてありがとう。あなたたちは毎日一生懸命努力し、Team Teachingの授業に前向きな姿勢で臨んでいます。私が見る限り、あなたたちは聡明で才能があります。すでに正しい道を歩んでいるので、自分自身を信じ、ベストを尽くし続けてください。Love, Ms. Nguyen」

【まとめ】今回のインタビューを通して、前橋南高校の生徒をたくさん褒めてくれているヌエン先生の姿が印象的でした。2, 3年生はヌエン先生との授業がない生徒もいると思いますが、金曜日の昼休みや放課後にぜひ会いに行ってくださいね。またランチ会を企画しようと思うので、ぜひ参加してください。(1学年 英語 佐藤)

★校長より★ 生徒の皆さんにはヌエン先生とたくさんお話をしてほしいと思います。「話をしよう」ということ、それを行動に移すことが一番大切なことだと考えます。「海外の学校で英語の指導に携わろう」と考え、実行した先生です。ヌエン先生と話をし、その考え方や感じ方に触れることは英語力の向上ということだけでなく、皆さんの世界をずっと広げてくれます。(校長 原 拓史)